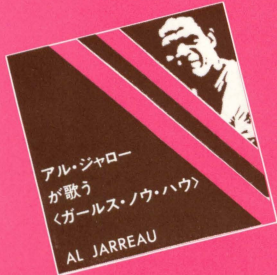


こんな優しい愛が欲しかった…私、真夜中のシンデレラ!

ラブINニューヨーク



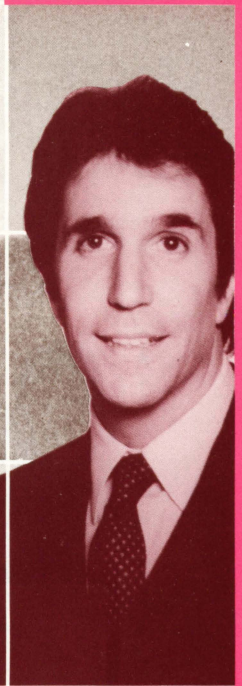
アル・ジャロー
が歌う
〈ガールズ・ノウ・ハウ〉
AL JARREAU



クォーター・
フラッシュが歌う
〈ラブINニューヨーク〉
のテーマ
QUARTERFLASH



★バート・バカラックのオリジナル曲を歌う3大スーパースターを頂点に一流ミュージシャンが集結!



ロッド・
スチュアートが
熱唱する
〈フレンズ〉
ROD STEWART



NIGHT SHIFT

ブライアン・グレイザー
・プロダクション
ロン・ハワード作品
"NIGHT SHIFT"
ヘンリー・ウインクラー
マイケル・キートン
シェリー・ロング
製作総指揮ドン・クランズ
脚本ロウエル・ガンツ
& ババルー・マンデル
音楽バート・バカラック
作詩キャロル・ベイヤー・セイガー
製作ブライアン・グレイザー
監督ロン・ハワード
ラッド・カンパニー作品
ワーナー・ブラザーズ映画配給

DOLBY STEREO
IN SELECTED THEATRES

オリジナル・サントラ盤 / ワーナー・バイオニア・レコード



A LADD COMPANY RELEASE THRU WARNER BROS. A WARNER COMMUNICATIONS COMPANY

***若い感覚があふれるフレッシュ・ムービー**
 「ラブ・イン・ニューヨーク」は、気弱で真面目な夜勤の青年と、ヒモを殺された困っていた売春婦との愛を描いた傑作である。こんな設定からすると、暗くて救いようのない愛情ドラマを想像するが、これがまったく正反対、明るく楽しく面白くドラマ。その第一の理由は29才の製作者ブライアン・グレイザーが33才の監督ロン・ハワードの若さで情熱だ。2人の若者が死体現場で売春組織を作っていたという新聞の小さなニュースにヒントを得たブライアンが、ロン・ハワードに相談を持ちかけ、さらにTV界のトップ・ライターであるロウエル・ガブツとババルー・マンデルに脚本を依頼、見事にテンポアップした台本が完成。

もともと「アメリカン・グラフィティ」「ラスト・シニエー」など俳優として活躍していた監督のロン・ハワードが、人気TVシリーズ「ハッピー・デイズ」で共演したヘンリー・ウインクラーの個性に注目し、このマジメで、おかしくて、やさしいチャック役を演じられるのは、ダスティン・ホフマン、アル・パシノ、タッド・ドリー・ウィンクラー、そしてこのヘンリー・ウインクラーしかない」とばかりに白羽の矢を立て、最高のハマリ役と評される演技を引きださせて、その眼力の確かさを証明している。



★超一流のミュージシャンが全面協力ノ抜群のサウンド全13曲!
 パート・バカラック、キャロル・ベイヤール、セイガーというゴルドン作曲・作詞コンビが映画のためのオリジナル曲をクォーター・フラッシュ、アル・ジャロウ、ロッド・スチュワートといった超豪華ミュージシャンに書いています。
 ★クォーター・フラッシュ《ナイト・シフト》
 ★アル・ジャロウ《ガールズ・ノウ・ハウ》
 ★ロッド・スチュワート《ザッツ・ホワット・フレンドズ・アー・フォー》
 ★クリス・ジェンセン《ゼイア・テイーリン・ダウン・タイム・リライズ・バー》
 ★ヴァン・ヘイレン《ユー・リアリー・ゴット・ミー》



者がその「優しさ」の無さで別れてしま
 う。
 次代のアメリカ映画になろう若手監督・製作コンビが、「優しさ」をテーマにした映画を作り、それが全米の若者たちに受け入れられたことは素晴らしい。もちろん、それをお説教映画とはまったくかけ離れた作品に仕立て上げた製作・監督・脚本など若手スタッフの手腕と情熱も見事である。



ラブ・イン・ニューヨーク

★ローリング・ストーンズ《ジャン・ピンク・ジャック・フラッシュ》
 ★ザ・ポインター・シスターズ《ザ・ラブ・トゥ・グッド・トゥ・ラスト》
 ★チャカ・カーン《エバーラストイン・グ・ラブ》

他5曲



***ニューヨークには恋のチャンスが一杯!**

チャック・ラムリー(ヘンリー・ウインクラー)は、気弱でマジメな男。ウォール街のエリートとして活躍していたが、神経をすり減らすような株式界の陰險なプレッシャーに耐えきれず、ニューヨーク市死体公示所という安全ではあるが、地味といえはあまんな地味な仕事に、上役から夜勤業務に回るよう命令された。何の事はない、上役の甥が彼の役職につくためにハジキ飛ばされたのだ。

口ごたえ一つすることもなく、一般大衆の帰宅時間に出社するチャックの夜勤生活は始まった。彼の助手としてやとわれた、ビル・ブラセヨスキー(マイケル・キートン)という若者は、自称、発明、アイデアの天才で、口を衝いて湧き上がってくるひらめきを携帯用テレコに吹き込み習慣を持つ、かなり根拠のない男だ。チャックの心配をよるに、会社の死体運搬車を利用したアルバイトまで始める始末。常に「手つとり早く金持ちになる方法」を考えつくり、最高のヒット・アイデアは、チャックのアパートの隣室に住む売春婦のベリンダ(シェリー・ロング)と彼女の仲間たちがヒモなしで困っているのを聞いて、チャックと一緒にヒモをやらうと言いつ出したことだ。

チャックとベリンダは、チャックが夜勤になったために生活のヒモが殺され一致して、以前ベリンダのヒモが殺された時に死体公示所で会っていることもあって、急に親しくなったお隣り同士といった間柄。ヒモがいなくなったために客に代金を踏み倒されたら、乱暴されたら、仕事かスラムズに行かなくなった困っている彼女に、常々同情していたチャックだったから、彼女やそのお仲間間の女性たちが助かるのなら、普通だったら、とんでもない」と断わるはずのビルのアイデアに、消極的にはあるが賛成したのである。

11月19日(土)ロードショー

特別鑑賞券¥1200(当日・高校生¥1300の処)発売中!

伊勢丹前 新宿文化シネマ2 (354) 2098
 シネ・タウン

日・祝 10:35 平日 12:30 2:40 4:50 7:00